



松本病院 地域医療連携室だより

Matsumoto Hospital

発行責任者：独立行政法人国立病院機構 松本病院 院長 岩浅武彦
〒399-8701 長野県松本市芳川村井町1209番地
TEL (0263) 86-2812 FAX (0263) 86-2816



あけまして
おめでと
うござい
ます



木下 美保 (派遣) 征矢 恵子 長谷川直子 (ソーシャルワーカー) 和田 晃子 (派遣)
山蔭 文子 (看護部長) 米山 威久 (副院長) 岩浅 武彦 (病院長) 中島 幹夫 (事務部長) 松下 守 (専門職)

明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはご清祥のうちに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新しく当院の医療連携室を改組、強化した結果、病院の運営等について多くの貴重なご意見やご指導をいただけるようになりましたことをまず感謝申し上げます。

医療連携室の改組、強化を決めたのは、昨年4月、当院が独立行政法人となり、国立病院機構 松本病院と名前を変え、医療の軸足を国から地域の医療に移したときでありました。一つの医療機関に

おいて完結型の医療を求めることが困難な現在、当院の基本理念の一つであります「患者さん中心の医療」を実践するために地域で医療機関の機能と役割を分担する。そして、お互いの強みを生かし弱みを補完する診療所、病院とのうまい連携が、地域全体の医療の効率化と質の高い医療のサービスの提供につながると考えています。さらに、近隣の診療所、病院と連携を密にしていること自体が、患者さんに安心感を与えます。

最近行いました当院のアンケート結果から読みとれますことは、

どんなに高度の、質の高い医療をやっても患者さんはそれはごく当たり前の医療であると理解されているようです。これは医療の専門性からやむを得ませんが、良い医療を提供して患者さんがほんとうに満足してもらえるためには、やはり医療従事者の誠意ある温かい対応が必要であります。

患者さんからもう一度この病院にかかりたいという答えをいただいた場合、その理由として、医療従事者の対応が良かったという答えが最も多く、医療の質の高さをあげている比率は比較的低いのであります。要するに患者さんは医療の質を評価することは難しいということが考えられます。ただ、医療連携を御願っている先生方には、当院の医療の質をまず評価していただくことが医療連携の基本になるのではないかと努めています。

新年を迎え「患者さん中心の医療連携」をさらに推進したいと思っておりますので、医療連携室に対するご指導をよろしく御願致します。

平成十七年一月

病院長 岩浅武彦

独立行政法人国立病院機構 松本病院の基本理念

- 患者様の立場や権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに患者様中心の医療を行います。
- EBMに基づいた医療を行うことにより、人の生命に関わる専門職として質の高い医療を責任をもって提供します。
- 和とは連携である。職場の和のみならず、専門技術を総合的に連携させ、チーム医療や地域の医療連携を大切にします。
- チャレンジ精神を持ち、常に前進します。

職 場 紹 介

消化器科

内視鏡室

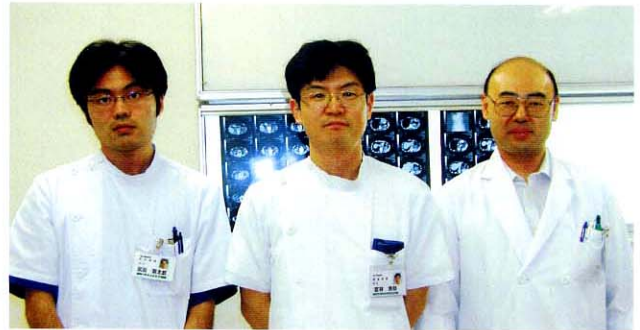
今回は当院の内視鏡室を紹介いたします。主に消化器科・内科・外科のドクターが消化器の検査・処置を行っています。

中心となるのは内視鏡技師である常田・斎藤両看護師と内視鏡指導医である外科 小池祥一郎医長・消化器科 宮林医長と消化器科の松林医師です。加えて外科ドクター・内科ドクターが集って検査を行っています。

当院の売りとしては消化器系であればどうにかするというこのことをスローガンに上部消化管内視鏡検査から胆膵内視鏡・大腸内視鏡まで行っています。

主に行っているのは

- ①上部消化管および大腸内視鏡スクリーニング検査
- ②上部消化管および大腸腫瘍性病変に対する一括切除を目的とした内視鏡的粘膜下切開剥離術(ESD)
- ③消化管狭窄病変に対する内視鏡的拡張およびステント挿入
- ④膵・胆管系病変に対する診断的および治療的ERCP関連手技およびドレナージ術
- ⑤消化管出血に対する内視鏡的止血術
- ⑥超音波内視鏡検査(管腔内および膵胆系)などです。



消化器科スタッフ

武田龍太郎 宮林 秀晴 松林 潔

毎日何かしら緊急内視鏡検査が入り、午後の検査時間が延長し、夜になってしまうこともしばしばです。

内視鏡切除に関しては、おかげさまでご紹介いただき年間20~25例程度を施行させていただいています。しかしあくまでも患者さんの利益が優先であり、患者さんと、かつ外科のドクターと相談しながら適応を考えていきたいと思っています。また、当院ドクターは研修医も含めて内視鏡室に来るものは拒まず、責任を持って指導し、一人前になって巣立っていくよう教育も行っています。

スクリーニングはもとより困った症例があれば消化器科・外科に一度相談いただければと思います。



宮林 秀晴
(消化器科医長)

直接内視鏡検査をご依頼いただく先生へ

消化器関連疾患をご紹介いただきありがとうございます。

連携室・内科外来に予約いただければ直接当日内視鏡検査も受けたまわります。内視鏡検査を紹介していただく場合は可能であれば以下のことを紹介状に書き加えていただけると幸いです。

1. できれば感染症のチェック(HBs-Ag、HCV-Ab、ワ氏)をお願いします。紹介状に添付していただけると幸いです。
2. 心臓病・緑内障・前立腺肥大の有無・抗血小板剤などの薬剤内服の有無を付記していただけると幸いです(プスコパン使用・生検の可否決定のため)。
3. 上部消化管内視鏡検査の場合は前日8時までに夕食をすませ、当日は朝食抜きでおいでください。
4. 大腸内視鏡検査の場合は前日にマグコロールP1袋あるいはマグコロール1本と、プルゼニドなどセンナ系薬剤2錠を夜飲んで前日8時までに夕食をすませ、当日は朝食抜きでおいでください。

※ご面倒であれば消化器科外来に紹介ください。



開業医の先生紹介

医療法人 聖会
大池内科クリニック
松本市

大池 淑元 院長



2000年12月4日、当時の国立松本病院を辞し、この笹賀で開院して早くも5年目に突入しています。原稿の依頼をいただきましたので、地域医療の現場から、「病診連携」という今回のテーマに沿って思いつくことをランダムに書き連ねてみます。さて、地域の医療現場は、基本的に高齢者の医療が中心的課題になります。そこに加えて、社会経済的な問題の現代的なテーマは逃れがたくこんな松本のはずれにも遍在しており、独居老人の群れ、老人性痴呆に追われる家族、等々、ほんとうにそのまま全ての地域的な現代的問題が山積みです。そんななかで、専門医療という言葉と、経営の効率化、という大きな課題をもつ地域の基幹病院である松本病院には、何が、どう期待できるのか、あるいは、こんな小さなわたしのクリニックが、逆に機能補完としてどのような立ち回りが出るのか、この点はいくらでもテーマがありそうです。しかしあんまり漠然としたことは書いても仕方がないので、それなりに具体的な状況を列記しましょう。まず、わたしが松本病院にいちばん助けていただいていると感じる事の多い領域の最初にあるのは小児科です。小児医療は、年齢的にはあらゆる階層を包括的に扱うことを要求される地域医療の外來診療としての、ひとつの避けて通れない重要なポイントです。しかしこれは明らかに自分の履歴の中には入っていない領域ですから、ほんとうに自分の限界をすこし浅めに意識して、決して深追いにならないようにと早めの紹介を意識しています。概ね松本病院の小児科の受け入れはスムーズかつ

速やかにお願いできており、大変助かっています。さて、本分の内科医として病院にお世話になる日常的に遭遇する一般的な急性疾患は、当然消化管出血などが多く、これも内視鏡の専門チームにずいぶん助けていただいています。冠動脈疾患や不整脈では循環器のチームにお願いすることは多いです。しかし市内の他の施設との比較で議論すると、やはり人員と施設というとても現実的なテーマの壁は大きそうです。具体的かつ長期的な視点で体制を整える必要性が高い部分だと思います。全体的に呼吸器疾患でのお願いがしにくい実情はなんとか改善していただきたいところです。そして、クリニックとして圧倒的に大きな役割を担われるのは高齢者の医療です。脳血管障害、痴呆、そして末期医療がだいたいの大きなテーマでしょうか。脳血管障害はその急性期として脳神経外科、あるいは一般内科のお世話になります。しばしば助けていただいていると思いますが、この点でもおそらく施設と人員の点でなかなか困難な課題が多いのが歴史的にも松本病院の苦しい実情ではないでしょうか。またリハビリの展開が印象としては希薄ではなからうかと思えます。最終的にはこうした領域は痴呆性疾患の長期的問題も含めて、在宅医療への展開ということになります。しかしその体制として痴呆老人などの現代的テーマにはあまり馴染んでこなかったのが松本病院の実情でしょうから、病院機能としての分担を比較的其他の病院へ依存せざるをえないことが多いです。悪性疾患などの一般的な末期医療の場合はかなり現実的に密な連携の必要性

は高く、実際すでにその点での具体例はもう何例か発生してきました。在宅への橋渡しの準備、そしてその後のバックアップがどうか、ということがテーマになるのでしょうか。在宅の看取りを視野に入れた繊細さが一番必要な領域です。しかし、とにかく日々の診療を通して松本病院のあらゆる診療科には様々な局面でお世話になっていることは書ききれません。病診連携は毎日の現実です。今回も地域医療連携室ということでのこうした文章の依頼でしたが、有機的にこのシステムを動かすためには、おそらくことにその先頭である現場の医師ひとりひとりがその連携を意識し続けていただくことが一番大切なのでしょうか。窓口を名前だけにしてしまわないためには、病院スタッフ全員がすべて個人個人地域医療への窓口であることを意識していただければ、そのまとめ役としての地域医療連携室の有効性も高まるものと期待します。

なお、こちらで期待されるべきものがあるとすれば、病院の方法論を地域へ返すときの具体的なシステムの用意、です。これについてはこの夏に訪問看護ステーションをたちあげました。いくらでも病院のリクエストで患家宅へ赴き、点滴ひとつから可能な限りの具体的な技術的な行為を実践するように構えています。今後の病院側のリクエストに応えられるように充実させていくつもりですのでいくらでも気軽にご利用いただいかまいません。実効性のある地域医療にむかって、わたしの小さなクリニックもなんとか微々たる歩みを進めていきます。松本病院も、頼れる地域の医療の灯火としてあり続けるように努力していただきたいと思います。相互に前向きに良き病診連携を深められるように地道な努力を続けていきたいものです。



大池内科クリニック
〒399-0033 長野県松本市笹賀3967-7
TEL : 0263-85-0873
FAX : 0263-85-0878



CT、MRI、RI検査を依頼するには？

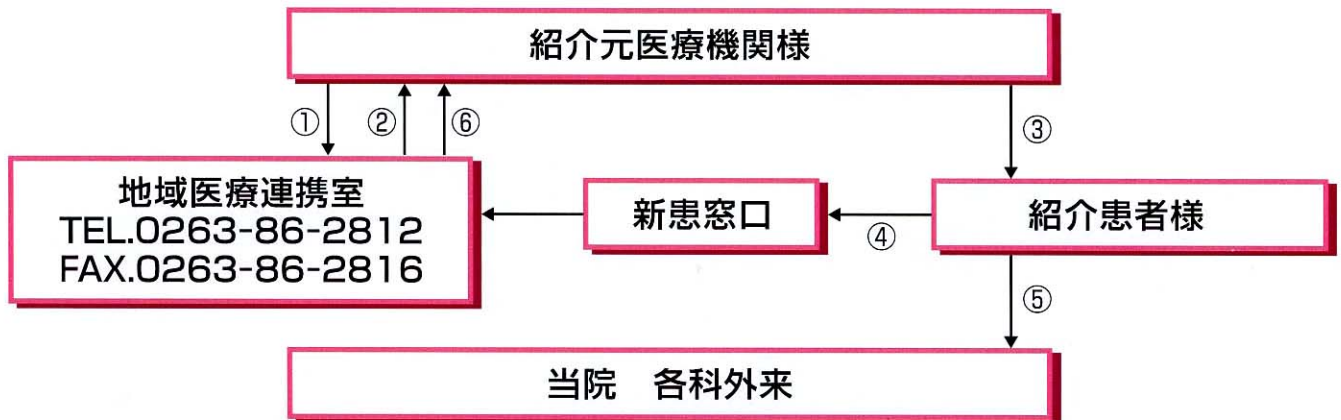
地域での高額医療機器の共同利用が勧められています。

当院におきましても、2名の放射線科医と9名の放射線技師がお待ちしております。

ご依頼は地域医療連携室を通して予約をしていただきます。検査当日は、ほぼ時間どおり検査が行われ、検査終了後結果を患者様にお渡しいたします。

ご利用をお待ちしております。

地域医療連携室より 患者様紹介方法



- ①紹介患者様の情報を事前に、FAXで地域医療連携室までお送り下さい。
→診療申込書をもとにカルテを作成いたしますので、内容は正確にご記入下さいますようお願いいたします。
- ②地域医療連携室から紹介元医療機関様へ予約通知をFAX等によって返信いたします。
→原則15分以内(出来る限り迅速にお返事いたします)
- ③紹介元医療機関様で、診療情報提供書(紹介状)の原本・X-P等の資料を紹介患者様にお渡し下さい。
- ④紹介患者様は診察当日の15分前までに、紹介元医療機関様から渡された紹介状と診療申込書(FAX)の原本・X-P等の資料、そして保険証を当院の新患窓口までお持ち下さい。
- ⑤紹介患者様は、受付を済ませた後、各科外来へ行き受診となります。
連携室のスタッフが各科外来までご案内いたします。
- ⑥患者報告書、診療情報提供書は患者様が持参するか、地域医療連携室より郵送いたします。

ご紹介を頂いた患者様につきましては、患者様の精査加療が終了次第ご報告申し上げ、ご紹介元での継続診療をお願いすることとしております。皆様方のご利用をお待ちいたしております。

勉強会のお知らせ

地域の皆様方のご参加をお待ちしています。

- | | | | |
|----------|----------|--------------|-------------|
| 1月20日(木) | 内科・外科勉強会 | 第2カンファレンスルーム | 19:00~20:00 |
| | 毎月第3木曜日 | | |
| 1月20日(木) | 小児科勉強会 | 会議室 | 19:00~20:00 |
| | 毎月第3木曜日 | | |

地域医療機関の先生方のご寄稿、ご意見をお待ちしております。

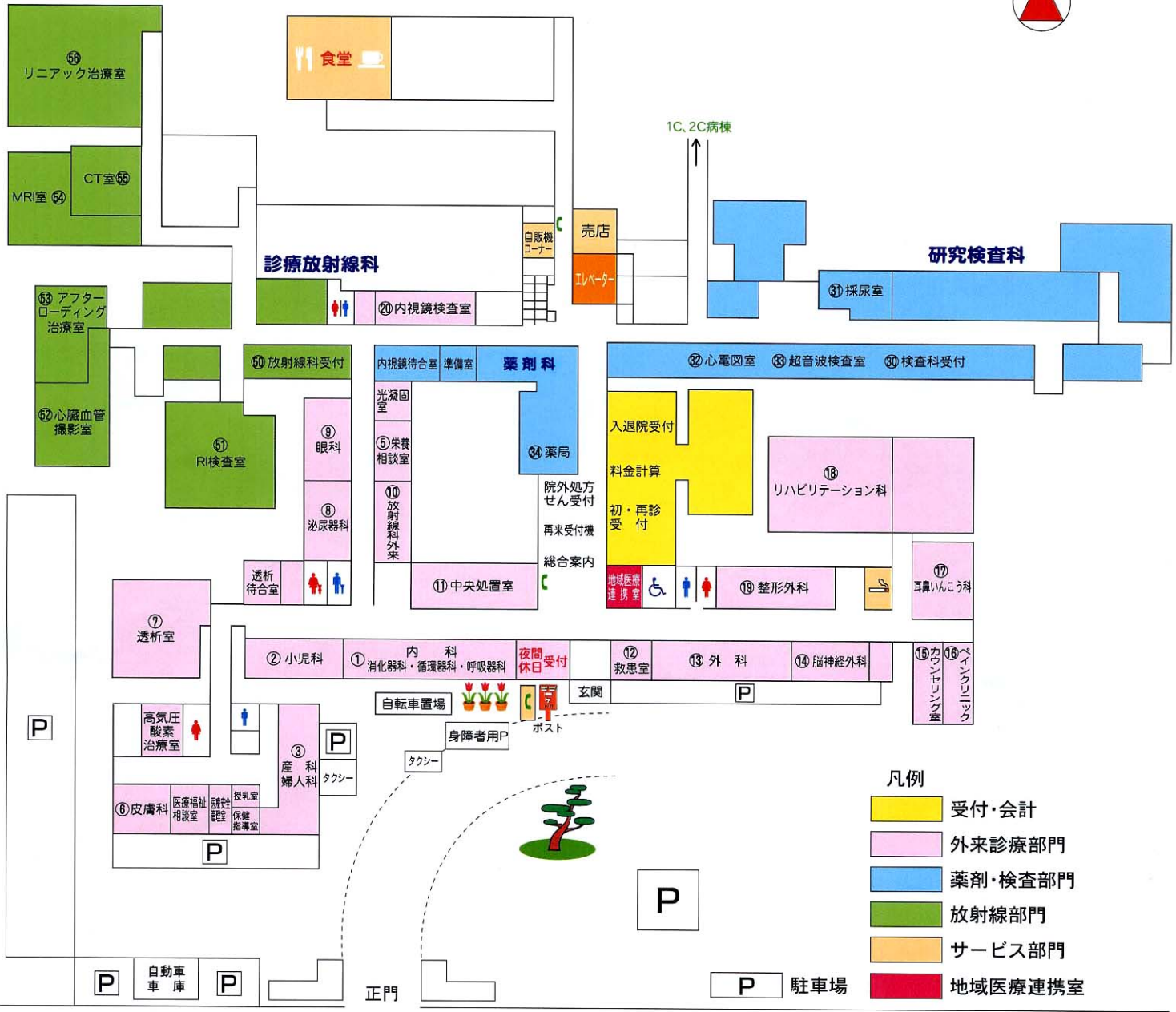
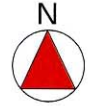
地域医療連携室 ☎0263-86-2812 征矢まで連絡をお願いします。

診療科名	曜日	月	火	水	木	金
内科	1	上條 敦	小口 悟寛 (腎臓)	金田 智子 清水 郁夫	高橋 寧史	小口 悟寛 (腎臓)
	2	古田 清	青木 雄次 (糖尿・内分泌)	青木 雄次 (糖尿・内分泌)	古田 清	青木 雄次 (糖尿・内分泌)
	3	馬渡栄一郎 (循環器)	矢崎 善一 (循環器)	馬渡栄一郎 (循環器)	熊谷美恵子 (糖尿・内分泌)	矢崎 善一 (循環器)
	5	松林 潔 (消化器)	宮林 秀晴 (消化器)	松林 潔 (消化器)	相澤 徹 (糖尿・内分泌)	宮林 秀晴 (消化器)
	6	北野 喜良 (血液)	熊谷美恵子 (糖尿・内分泌)	武田龍太郎	北野 喜良 (血液)	武田龍太郎
	専門			北野 喜良		
小児科	1	荒井 史	野呂瀬 昇	北原 正志	荒井 史	牛久保誠一
	2	松岡 高史	柴 直子	牛久保誠一	松岡 高史	野呂瀬 昇
	3	北原 正志			(交代制)	柴 直子
	14-15	専門外来(予約制)	一ヶ月検診	専門外来(予約制)	予約検査	専門外来(予約制)
外科	1	小池祥一郎	岩浅 武彦	小池祥一郎	中村 俊幸	岩浅 武彦
	2	江口 隆	中村 俊幸	(前野 一真)	江口 隆	前野 一真
	3		前野 一真			(江口 隆)
	13-15		特殊診療		ストマ外来 乳腺外来(清水忠博)	
整形外科	1	伊東 秀博	松林 茂之	(交代制)	伊東 秀博	伊東 秀博
	2	松林 茂之	籠田 豊		松林 茂之	籠田 豊
	3	成田 伸代	成田 伸代		籠田 豊	成田 伸代
	午後	(装具)	(検査)		(装具)	
脳神経外科		渡辺 宣明	渡辺 宣明	渡辺 宣明	(予定手術)	渡辺 宣明
皮膚科		徳田 安孝	徳田 安孝	徳田 安孝	井上・芦田 手術	徳田・清水
	午後			アレルギー外来		
泌尿器科	午前	米山 威久	紺谷 和彦 横山 仁	小宮山 斎	横山 仁 紺谷 和彦	小宮山 斎
婦人科	1	石橋 武蔵	三溝 ゆり	横西 清次	野池 雅実	横西 清次
	2	三溝 ゆり	野池 雅実	石橋 武蔵	横西 清次	交代制
産科		横西 清次	石橋 武蔵	野池 雅実	三溝 ゆり	交代制
	午後	ハイスク妊娠 不妊症		癌検診		
眼科		松尾 俊彦	松尾 俊彦	松尾 俊彦	松尾 俊彦	松尾 俊彦
			初診のみ			
耳鼻いんこう科		後藤 昭信	後藤 昭信	特殊診療	後藤 昭信	後藤 昭信
放射線科		伊藤 敦子	伊藤 敦子	伊藤 敦子	伊藤 敦子	伊藤 敦子
		越原 浩	越原 浩	越原 浩	越原 浩	越原 浩
	午後					小岩井慶一郎
麻酔科 (ペインクリニック)			井上 泰朗 (予約制)			

診療受付時間	初診	8:30~11:00	土・日・祝日	休診
	再診	8:30~11:00		
面会時間	平日	15:00~19:00	土・日・祝日	13:00~19:00

外来診療科案内図

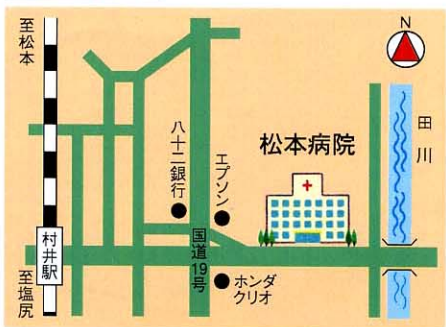
(すべて1階フロアにあります)



- 凡例**
- 受付・会計
 - 外来診療部門
 - 薬剤・検査部門
 - 放射線部門
 - サービス部門
 - 地域医療連携室

← 国道19号線 方面
村井駅

交通案内



独立行政法人 国立病院機構 **松本病院 地域医療連携室**

〒399-8701 長野県松本市芳川村井町1209番地
TEL.0263-86-2812 FAX.0263-86-2816